

科目名	介護実習						
Course Name	Practicum of Care-Work						
年次	1・2年	期別	通年	単位数	10	授業形態	実験実習
担当者氏名	久保由佳、和田晴美、石川幸子						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは担当教員より説明する。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程は必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>介護実習は臨地で利用者との関わりを通して、専門職となるために必要な「実践力」を養うための体験学習である。実習は2年間で450時間行う。</p> <p>①利用者の自己選択と決定を尊重し、自立に根ざした介護の方法を選択できるようにする。 ②介護活動に参加し、基本的な日常生活援助に必要な生活支援技術を実践できるようにする。 ③生活場面での生活環境の改善と、福祉用具の知識を活用できるようにする。 ④利用者個々の生活リズムや個性を捉え、介護過程に沿った個別ケアを実践できるようにする。 ⑤地域における福祉施設の役割と機能を説明できるようにする。 ⑥関連する他職種と協力・連携しながら、チームの一員として行動できるようにする。 ⑦介護の専門性を追求し、自己の介護観を明確にできるようにする。</p> <p>その他、各実習の目標は「介護実習の手引き」に記載されているので、確認すること。</p>						
授業の方法	臨地での体験学習であり、学校の指定する実習施設で行う。また、実習毎にオリエンテーションおよび反省会(グループワーク)も実施する。						
学習成果	L01	介護福祉士に必要な専門知識・技術・態度を身につけることができる。					
	L02						
	L03	介護福祉の専門知識・技術・態度を統合し、利用者のニーズや個別性に応じて介護を実践することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	実習施設指導者と担当教員の双方から評価し、実習区分毎に担当教員よりフィードバックする。						
教科書/参考図書	既習のテキストや参考書、各授業で配布した資料等、すべて活用する。						
履修上の留意点やルール等	<p>●実習区分毎に履修し、すべての実習を終了したものに単位を認定する。●授業態度、出席や課題提出状況、各科目の成績などを総合的に勘案し実習を認めないこともある。●実習時期によってはインフルエンザなどの感染症が流行することもあるので、予防接種の実施も含め、体調管理に努めること。</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験 学外講師(実習先の業務に携わる実務者) 介護現場における多様な経験を、介護の専門知識・技術を説明する時に活かす。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度					
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験					
その他	実習施設の指導者と担当教員の双方から評価する。各実習目標に応じて、生活環境の理解、利用者の理解、生活支援技術の実践、介護過程の展開、実習態度等の内容を評価する。	40		60	
合計		40		60	

回数		授業計画
1	授業内容	1 年次 4 月【見学実習】 介護老人福祉施設の見学、利用者とのコミュニケーション
	事前・事後学習	見学実習の感想と学びをまとめる。
2	授業内容	1 年次 8・9 月【基礎実習 I】 介護老人福祉施設・介護老人保健施設での実習(計 5 日間)
	事前・事後学習	実習施設の概要を調べ、記録する。
3	授業内容	1 年次 8・9 月【基礎実習 I】 通所介護(デイサービス)・通所リハビリテーション(デイケア)での実習(計 5 日間)
	事前・事後学習	利用者とのコミュニケーション場面を振り返り、プロセスレコードを記入する。
4	授業内容	1 年次後期【訪問入浴見学実習】 訪問入浴車による入浴介護の見学(学内にて実施)
	事前・事後学習	訪問入浴見学実習の感想と学びをまとめる。
5	授業内容	1 年次後期【居宅介護実習 I】 訪問入浴事業所での実習(計 1 日間)
	事前・事後学習	訪問入浴サービス場面を振り返り、感想と学びをまとめる。
6	授業内容	1 年次 2 月【基礎実習 II】 障害者支援施設・障害福祉サービス事業所での実習(計 5 日間)
	事前・事後学習	実習施設の概要を調べ、記録する。プロセスレコードを記入する。
7	授業内容	1 年次 2・3 月【施設介護実習 I】 高齢者施設において、情報収集、生活支援技術の実践を行う実習(計 16 日間)
	事前・事後学習	実習施設の概要を調べ、記録する。担当利用者の選定。
8	授業内容	1 年次 2・3 月【施設介護実習 I】 高齢者施設において、情報収集、生活支援技術の実践を行う実習(計 16 日間)
	事前・事後学習	利用者とのコミュニケーション場面を振り返り、プロセスレコードを記入する。
9	授業内容	1 年次 2・3 月【施設介護実習 I】 高齢者施設において、情報収集、生活支援技術の実践を行う実習(計 16 日間)
	事前・事後学習	担当利用者の情報収集を行い、利用者記録および情報収集用紙に記録する。
10	授業内容	2 年次前期【居宅介護実習 II】 訪問介護事業所での実習(計 2 日間)
	事前・事後学習	訪問介護サービス場面を振り返り、感想と学びをまとめる。
11	授業内容	2 年次 8・9 月【施設介護実習 II】 高齢者施設において、介護過程の展開を行う実習(計 21 日間)
	事前・事後学習	実習施設の概要を調べ、記録する。担当利用者の選定。
12	授業内容	2 年次 8・9 月【施設介護実習 II】 高齢者施設において、介護過程の展開を行う実習(計 21 日間)
	事前・事後学習	担当利用者の情報収集を行い、アセスメント用紙に記録する。
13	授業内容	2 年次 8・9 月【施設介護実習 II】 高齢者施設において、介護過程の展開を行う実習(計 21 日間)
	事前・事後学習	介護計画を立案し、援助計画用紙に記録する。
14	授業内容	2 年次 8・9 月【施設介護実習 II】 高齢者施設において、介護過程の展開を行う実習(計 21 日間)
	事前・事後学習	計画実施状況の記録。援助内容を評価し、必要に応じて再アセスメントする。
15	授業内容	2 年次後期【居宅介護実習 III】 認知症対応型共同生活介護での実習(計 2 日間)
	事前・事後学習	認知症高齢者への支援を振り返り、感想と学びをまとめる。